

岡山県におけるPBL推進の概念図

岡山県教育委員会



PBLとは Project Based Learning
「課題解決型学習」のことだよ。



目指す姿

「自分の頭で考え、
自分の言葉で語り、
自分の意志で行動
できる」

生きて働く「実践的な力」
を身に付ける

生涯にわたって能動的
(アクティブ) に学び続ける

PBL

子どもたちが、自ら課題を見つけ、その課題を自ら解決する過程を通して、課題を解決するために必要な資質・能力を身に付ける学習方法

総学
総探

各教科
科目

特別活動

高校教育段階

- ・地域学の推進
- ・高校生探究
フォーラム等による取組の発信

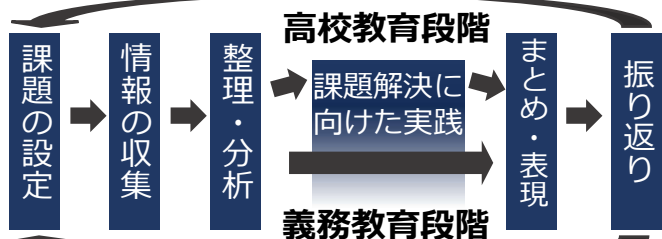


POINT!

- ・総合的な探究の時間におけるPBLの進め方を解説
- ・課題を解決するための行動を重視

参考資料：「PBLガイドブック（高校版）」

PBLの進め方（例）



義務教育段階

- ・ふるさと学習の推進
- ・おかやま学びたい賞フォーラム等による取組の発信



POINT!

- ・岡山型PBLの活かし方や進め方を解説
- ・学習過程の例示
- ・多様な実践例

参考資料：「岡山型PBLガイドブック」

岡山型PBL

※義務教育段階で推進

学習内容に応じて、「自己決定の場を設ける」こと、「振り返りを重視する」こと、「地域の多様な人・もの・ことと関わる」ことを大切に、「夢育」で重視している非認知能力の育成も意識しながら、各教科等や総合的な学習の時間、特別活動の目標に示す資質・能力を身に付ける学習方法

非認知能力の育成
「自分を高める力」「自分と向き合う力」「地域とつながる力」

・課題研究の充実等

授業改善の視点の例

主体的

- 自分と結びつける
- 粘り強く取り組む

対話的

- 互いの考えを比較する
- 協働して課題解決する

深い学び

- 知識・技能を活用する
- 自分の考えを形成する

・体験活動の充実等



©岡山県「ももちちゃんとかまたち」

就学前教育段階：生涯にわたる学びの基礎となる学びに向かう力や非認知能力の涵養

PBLが求められる背景

- 予測困難な時代
- 一人一人が持続可能な社会の担い手
- 変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決
- 新たな価値の創造
- 複雑な状況変化の中で目的を再構築する
- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 「生きる力」の育成
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 家庭や地域との連携・協働